



# なごや「聖歌」だより 3月号'10

## 「新たなる歌を主に歌え」——たくさんのお見学者がいます

新聖堂で本格的な活動を初めて一ヶ月になります。物珍しさも手伝って近隣の方の関心を集めています。2月7日の見学会には予想以上の30人近くの方が来会されました。大斎祈祷も、「祈祷中、ご自由にご参拝を」という看板を出したところ、毎日のように見学者がいます。鶴舞公園や大学病院が近いために、徒歩や自転車で通る方が多く、館名看板にそえた由緒書きに目をとめておられます。聖堂に入ってこられた方は一様に、「ほお——」と声をあげられます。

正教会らしい立派な建物がある、ということ自体に大きな宣教効果があるのだということを改めて感じています。明治時代、ニコライ大主教がかなり無理をしても一等地に立派な建物を建てたこと、セルギイ府主教が地



震で倒壊したニコライ堂を是が非でも復興しようとした理由が理解できるように思いました。

新聖堂は天井が高く、内装に木を用いたために、やわらかく深い響きがあります。一人で誦経していても、数人で単音で歌っていても、聖堂自体がふんわりと響き、ともに歌ってくれるようです。合唱で歌っても全体の大きな響きの中に一人一人の声がくっきり聞こえます。

復活祭、新しい地での宣教の最初の一步です。神の国の喜びを表すために、祈りと練習をしっかりと重ねたいと思います。

成聖式の時に祈ったように「この地に正教の信仰が植え付けられる」ためには、聖歌に限らず、みなさん、ひとりひとりのお力添えが必要です。福音を生かすのは教会という体のメンバー(肢体)です。



### 「復活祭」にむけて。

♪名古屋:

3月14日代式後と毎主日祈祷後に行います。新聖堂での初めての復活祭。これからの宣教がかかっています。ご協力よろしくお願いします。今年の復活祭は4月4日。もうすぐです。

♪半田: 3月31日(水) 2時ごろから

復活祭の練習をします。受難週の前備聖体礼儀のあと、昼食後に行います。

聖歌練習

### ズナメニ研究会 紹介

次回第7回

3月17日水曜日 1時30分～

成聖式でしばらくお休みしていましたが、復活します。新聖堂の四角にクーポールの形式はズナメニが歌われていたころのスタイルです。

3月の指揮当番

7日 ピーメン松島

21日 エレナ広石

28日 マリア松島



聖歌の伝統 J.V. ガードナー著  
「ロシア正教会の聖歌」から

聖歌の名称

3. カノン (規程) その1 ó κανόν; КАНОНЪ

カノンは4から6個のトロパリ(短い歌)を含む歌頌(オード、ώδη; песнь: 複 ώδαί; песни)が9つ集まって構成される複合詩です。(ただし第2歌頌は大斎以外はほとんど行われません。)どの歌頌も旧約聖書の預言の歌頌がベースになっており、旧約の内容が新約でどのように成就したかが歌われます。各歌頌のテーマは次の通りです。

- 第1歌頌 モイセイ(モーゼ)の歌: エジプトを出ずる記(出エジプト) 15:1~9
- 第2歌頌 モイセイの歌: 申命記 32:1~43
- 第3歌頌 アンナ(ハンナ)の祈り: 列王記I[サミュエルI] 2:1~10
- 第4歌頌 アワクムの祈り: アワクムの預言書(ハバクク) 3:1~19
- 第5歌頌 イサイヤの祈り: イサイヤの預言書(イザヤ) 26:9~20
- 第6歌頌 イオナの祈り: イオナの預言書(ヨナ) 2:3~10
- 第7歌頌 三人の少者の祈り: ダニールの預言書(ダニエル) 3:36~56
- 第8歌頌 三人の少者の祈り: ダニールの預言書(ダニエル) 3:57~88
- 第9歌頌 生神女の歌: ルカ 1:46~55 ザハリア(ザカリア)の祈り: ルカ1:68~79

これらの旧約歌頌はユダヤ教の時代から聖詠同様に祈りの中で歌われており、古い『聖詠経』Psalteryには旧約歌頌を含めたものもあります。カノンは7-8世紀に修道院で作られた形式で、当初は旧約歌頌の句の間に新しく作られたトロパリを挟み込んで歌われましたが、今では各トロパリの前に「主や光栄は爾の聖なる復活に帰す」などの短い冠詞をつけるだけになりました。しかし大斎中平日の早課には古い実施方法が残っています。(『接続歌集』P276参照)

各歌頌の最初の歌(スタンツァ)はイルモス(είρμος; ирмось または связка)と呼ばれます。イルモスとは『結ぶ』の意味で、各歌頌を「結ぶ」、旧約のテーマと新約のテーマを「結ぶ」役目を表します。ギリシア語原典の詩型を調べると、イルモスとそれに続くトロパリはシラブル(音節)の数、アクセントの位置が一致しており、たやすく同じメロディにのせて歌うことができます。ギリシアでは今でもすべてのトロパリを同じメロディの繰り返しで歌いますが、ロシアや日本の教会では冒頭のイルモスだけを歌いトロパリは読むのが一般的です。スラブ語や日本語に翻訳するとき意味の正確さ重視したために、すべてを歌えるように同じ詩型を保つのは困難だったからです。

大斎のカノンの仕組み

大斎中には古式に則って、旧約歌頌に挟み込んでカノンが実施される。詳しくは『接続歌集』参照。番号のついているのが旧約歌頌の歌。第1週水曜日为例に挙げて解説。第2週以降も同様に構成できる。

♪月課経のカノンのイルモスを歌う

- 1 我が心は主の中に堅められ、我が角は我が神に在りて高くなり、我が口は我が敵の上に開けたり、蓋我は爾の救の為に楽しむ。
- 2 主の如く聖なる者あらず、蓋爾の外に他の者なし、我が神の如く堅固なる者あらず。
- 3 復驕れる言を言ふ勿れ、狂妄をして爾の口より出でしむる勿れ、
- 4 蓋主は睿智の神にして、行為は彼に権られたり。  
—『大斎第1週奉事式略』では以下5から10まで省略—

(月課経から聖人のカノンの第1トロパリ)日本では省略

- 5 強き者の弓は弱み、弱れる者は力を帯びたり。  
(月課経から聖人のカノンの第1トロパリ)省略
- 6 飽きたる者は糧の為に労働し、飢えたる者は息ふ。  
(月課経から聖人のカノンの第1トロパリ)省略
- 7 胎荒れたる者は七子を生み、多くの子ある者は衰ふ。  
(月課経から聖人のカノンの第1トロパリ)省略
- 8 主は殺し亦生かす、地獄に下し亦上す。  
(月課経から聖人のカノンの第1トロパリ)省略
- 9 主は貧しくし亦富ますも卑くし亦高くす  
(月課経から聖人のカノンの第1トロパリ)省略
- 10 主は貧しき者を塵埃より起し、乏しき者を草芥より挙げて、之を牧伯と共に坐せしめ、光栄の位を嗣がしむ。  
三歌斎経 第1のカノンのイルモス歌う

11 彼は其聖者の足を守る、不法の者は幽暗の中に消ゆ。

三歌斎経 第1のカノンの第1トロパリ「我等節制を以て」

12 蓋人は力を以て堅固なるに非ず、主は之に敵する者を砕かん、主は聖なり。

三歌斎経 第1のカノンの第2トロパリ「我等苦き罪を」

13 智者は其智を以て誇る勿れ、強き者は其力を以て誇る勿れ、富む者は其富を以て誇る勿れ。

三歌斎経 第1のカノンの第3トロパリ「罪は習慣となりて」

14 誇らんと欲する者は主を悟りて彼を知り、且地の中に審判と義とを行ふを以て誇るべし。

三歌斎経 第1のカノンの生神女讃詞「主宰を生みし者」

(第2のカノンのイルモス歌う『大斎第1週奉事式略』では省略)

15 主は天に升りて轟けり、彼は義にして地の極を審判せん。

三歌斎経 第2のカノンの第1トロパリ「十字架の木は」

16 彼は力を以て其王に賜ひ其膏つけられし者の角を高くせん。三歌斎経 第2のカノンの第2トロパリ「我等皆諸欲の」

17 光栄は父と子と聖神に帰す

光栄讃詞「我唯一の」

18 今も何時も世世にアミン

生神女讃詞「潔き者よ」

19 我等の神よ光栄は爾に帰す、光栄は爾に帰す

三歌斎経 第2のカノンのトロパリ「ハリストスよ、我爾の」

三歌斎経 カタワシヤとして第2のカノンのイルモス歌う

ホームページのご案内

○「なごや聖歌だより」のホームページ

<http://www.orthodox-jp.com/music>

なごや聖歌だよりのホームページの表紙で名古屋教会の聖歌が聞けます。「聖歌だより」のバックナンバーもダウンロードできます。

○ 東方正教会の聖歌 <http://www.orthodox-jp.com/maria>

詳しく学びたい方のため正教会聖歌の特徴、聖歌の神学、歴史、など海外の資料も多数翻訳して掲載しています。

○ 正教会奉神礼研究 Liturgia

<http://www.orthodox-jp.com/liturgy> 奉神礼や聖歌の実践資料